



コタンメール^{57号}

平成 22 年 8 月 25 日 発行

担い手育成講座通信

大盛況！！ 夏休み体験模擬授業！！

8月6日、7日にイオル担い手育成事業研修生による夏休み体験模擬授業を行ないました。

当日は、東京や美幌、苫小牧からと沢山の人が集まってくれました。

山田美郷さんの授業では「アイヌ民族の針入れ（チシポ）をつくる体験」で、アイヌ文化での針の大切さを学ぶと共に苦戦しながらも一生懸命針入れ（チシポ）を作りました。



針入れ完成！おうちの針を入れようっと♪



Tシャツに文様をプリント！

堀多栄子さんの授業は「オオウバユリの採取方法 食体験」で、アイヌの食文化を学びましたが、実際に食す事で子供達は「美味しい」「まずい」等とそれぞれの体験を楽しんでいました。

私（八幡一巖）の授業は「アイヌ文様 切り絵プリント体験」でしたが、子供達はインクまみれになりながらもTシャツ等に皆思い思いのアイヌ文様をプリントして、アイヌ文様を身近なものにしていました。

川村このみさんの授業では、「動植物にちなんだアイヌ舞踊」。ネズミの踊りでは、子供達は皆目を輝かせながら目標物のお菓子を^{まき}取る様を楽しそうに踊っていました。

木村君由美さんの授業は「コースターに刺繍体験」。なれない針仕事にもめげずに全員刺繍を完成させ、満足そうでした。

以上、バラエティーに富んだ内容で子供達に授業を行い、大盛況にて幕を閉じました。

短い日程でしたが、子供たちの笑い声は絶える事なく「楽しんでアイヌ文化を学習」が実践できた2日間でした。
(やはたかずみち)



初めてのお裁縫^{さいほう}。うまく縫^ぬえるかなあ。

初参加！第3回はこだて国際民俗芸術祭

— 芸術は世界共通のコミュニケーションを実感 —

8月8日に函館で開催されていた「はこだて国際民俗芸術祭」に参加してきました。芸術祭の本番のステージは夜だったので午前中は五稜郭タワーで公演を行い、午後はまちづくりセンターでムックリ製作及びトンコリ演奏体験のワークショップを開催しました。

五稜郭センターでは夜のステージの宣伝のための軽めの公演でした。時間的な制約もあり全ての演目を行ったわけではなかったのですが、それなりにお客様の注目を集めることができましたと思います。その後はまちづくりセンターの方に移動し、ワークショップの準備に取り掛かりました。事前にご予約頂いたお客様はそれ程多くはなかったのですが、夏休み中ということもあってかお子様連れのお客様に多く参加して頂き、結果的には用意した席はほとんど埋まっています。ムックリやトンコリは普段接する機会がほとんどない珍しい楽器だと思いましたが、今回たくさんの方に実際に触れて頂き、少しでもアイヌ文化に対して興味を持っていただけであれば幸いです。



夜は元町公園のメインステージでの公演でした。世界各国から18組の音楽家や舞踏家が参加し、我々アイヌ民族博物館も今年初めて参加させて頂きました。野外ステージだったのですが天候にも恵まれ、とてもたくさんのお客様が来場していました。スタッフの方たちもアイヌ舞踊は初めて見るという方がほとんどで、皆さんにどのように受け止められるのか期待もありましたし、少し不安もありました。しかしいざ始まってみると観客の皆様もリズムに合わせて手拍子を打ち、熱心にご覧になっていました。公演の最後の方では観客の皆様と一緒に踊る演目があったのですが、日本人の観客も海外から来ていたアーティストの方々も入り交じった踊りとなり、とても熱狂的なステージだったと思います。

言葉が出来なければ国際交流はできないと考える人もいるかもしれませんが、この日のイベントでは音楽や舞踊という共通の表現を通して国際交流が立派に成立していたと思います。

異なる文化や習慣、言語を持つ人たちと交流しようとする場合、言葉の障壁というものは確かに存在します。



しかし、まずはコミュニケーションしたいという意思や相手に対して興味を持つということが大事ではないでしょうか。今回の公演で一緒に踊って下さった皆様とは言葉以上の交流ができたと思いますし、これが一番の収穫だったとも思います。公演をご覧になって頂いた皆様、色々と手配、準備して頂いたスタッフの皆様等、函館の皆様感謝します。本当にありがとうございました。（こじまだいき）